

日刊 動労千葉

87. 3. 11

No. 2498

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二二七二〇七

3・29三里塚現地へ根こそぎ決起を

船橋・中江・成田・北原選挙戦 の大勝利をかちとろう

一月から三月にかけての闘いに勝利し、「四月一日を新たな闘いの門出に」するべく「3・29三里塚現地闘争」に、組織の総力をあげて決起しなければならぬ。この「3・29」への大結集こそ、日帝・中曾根、動労革マル松崎に大打撃を与え、さらに、船橋・成田選挙決戦に勝利する道だ。全力で結集しよう。

用水工事強行に怒り

今、三里塚現地をめぐる闘いは、敷地内・成田用水の工事をめぐって激しい攻防が繰り返りひろげられている。

その中で三月二日、日帝・中曾根、空港公団は、一月二六日に千葉地裁で出された「三月九日の現況検証まで成田用水工事中止」という決定さえ無視して、成田用水第二工区の高谷（たかや）川水路拡幅工事を強行してきた。

さらに、その前段の二月二五日には、二期工区内でエプロンの土盛り工事を開始し、一日にダンプ三百台分の山砂を運びこみ、二期予定地の五分の二をコンクリート化しようとしている。

しかし、敷地内を先頭とする反対同盟は、この人を人とも思わぬ凶暴な攻撃に対し、連日決起し闘いぬいている。

追いつめられた

中曾根の乱調

この攻撃は、反対同盟破壊に失敗し、「九十年概成」というタイムリミットに

追いつめられた日帝・中曾根、公団のあがきであり、反対同盟の不屈・非妥協に打撃をうけたことのあかしである。

さらに中曾根は、「戦後政治の総決算」攻撃のすべてをやりぬこうと無理に無理を重ね、国鉄分割・民営化の大失敗、売上税問題などに見られる大乱調化に突入している。

三里塚・国鉄・選挙決戦 勝利の一大デモンストレーションへ

以上のように、動労千葉は反対同盟の招請にこたえ、「3・29全国総決起集会」に根こそぎ決起することを決定した。

この3・29現地闘争を、改めて「四月一日」に向けた一大闘争宣言の場とするとともに、三里塚を闘う労働運動の勝利性を全国の労働者に訴える場にしなければならぬ。

さらに、船橋・成田選挙勝利への一大デモンストレーションでもある。
全支部から家族も含め根こそぎで「3・29」へ総決起しよう。

二月二六日、船橋商工会議所において「中江昌夫を励ますつどい」が開かれ、町内会をはじめ労働運動、市民運動など各界から三百三十人の人達が集まり、中江候補への期待の大きさをうかがわせました。



各界から330人が結集!

「平和都市宣言」を公約通りに実現したことは非常に重要です。
また、自民党が「地方選は最大の決戦」と叫び、力づくでこようとしていることにも見られるように、厳しい闘いになることは確実です。
しかし、この船橋に生まれた新しい力を、動労千葉の総力を上げて再び船橋市議会に送り出そう。